

雪の下の唄

(詩集「名もない花」より)

門倉 さとし 作詩
神野 和博 作曲

The musical score consists of ten staves of music in G major, 4/4 time. Each staff includes a line of lyrics and a line of chords. The chords are: Amin, Dmin, Emin, G, C, and A. The lyrics are as follows:

1 どれだけ風がふぶいたら
空が あかるくはれるだろう

2 どれだけ雪がつもったら
春は やってくるだろう

3 どれだけ朝をさがしたら
ふきのとうは あるだろう

4 どれだけ夜汽車をかぞえたら
人は もどってくるだろう

5 どれだけ名まえを呼んだら
えくぼは 笑ってくれるだろう

6 どれだけ心がつぶれたら
花は つぼみをもつだろう

7 どれだけペンをにぎったら
のどは ことばになるだろう

8 どれだけ切手をはいたら
重い手紙は とどくだろう

9 どれだけ人がきえたら
村に 春はくるだろう

10 どれだけ村がつぶれたら
花は 赤くさくだろう

1 どれだけ風がふぶいたら
空が あかるくはれるだろう

2 どれだけ雪がつもったら
春は やってくるだろう

3 どれだけ朝をさがしたら
ふきのとうは あるだろう

4 どれだけ夜汽車をかぞえたら
人は もどってくるだろう

5 どれだけ名まえを呼んだら
えくぼは 笑ってくれるだろう

6 どれだけ心がつぶれたら
花は つぼみをもつだろう

7 どれだけペンをにぎったら
のどは ことばになるだろう

8 どれだけ切手をはいたら
重い手紙は とどくだろう

9 どれだけ人がきえたら
村に 春はくるだろう

10 どれだけ村がつぶれたら
花は 赤くさくだろう